

スープカレーで今金の味を学ぶ

9月25日、今金小学校にて今金町の食材を使った今金町農業協同組合主催の食育教室「今金の食を知ろう！ 作ろう！ 食べよう！」が開催されました。この食育教室は、札幌のスープカレー店「らっきょ」店主・井出剛氏を講師に招き、毎年行われているもので、今回は町内の小学6年生27名（今金小25名、種川小2名）が参加しました。

今回は、今金町産の野菜とせたな町産の若松ポークマンを使い、インド料理のサブジ風スープカレーを調理しました。様々なスパイスの香りに包まれながら調理を楽しみ、児童からは「美味しく出来たので、家でも作ってみたいです。」との声も聞かれました。



エコバッグ作りが行われました



9月23日、今金町民センターにてオリジナルエコバッグ作り（主催：いまかね絵本15周年記念事業実行委員会）が開催され、幼児から一般の方まで30名が参加しました。

今回はいまかね絵本のイラストレーターのカワグチリオ氏を講師に、無地のバッグに布用クレヨンで自由に絵を描き、エコバッグを作るワークショップが行われました。参加者は講師と交流しながら思い思いにイラストを描き、完成した作品には笑顔の様子が見られました。また、作品は第56回今金町総合文化祭にて展示されました。

第6回今金町健康まつり

10月4日、今金町総合体育館にて「第6回今金町健康まつり」（主催：今金町、今金町国保病院、今金町社会福祉協議会、今金町介護老人保健施設）が開催されました。

会場では、フィギュアスケートの高橋大輔選手をはじめとする多くのオリンピック選手のトレーナーを務める渡辺文緒さんによる講演会「身体メンテナンスでカラダもココロもほかほかに」が開催されました。講演では、健康づくりに役立つヒントが語られました。

このほか、リズム体操などの運動体験をはじめ、健康チェック・相談コーナー、射的・ヨーヨー釣りなどのイベントコーナーが設置されました。また、焼きたてパンや野菜、工芸品などを販売するブースも並び、多くの来場者でにぎわいました。



ンバーカードでは保険情報が確認できませんので「後期高齢者医療資格確認書」をご持参ください。

特殊詐欺被害防止の啓発活動



10月15、16日、今金郵便局前およびイエローグロブ今金店駐車場にて、特殊詐欺被害防止の啓発活動がせたな警察署員等により行われました。

この活動は年金支給日に合わせて実施されたもので、近年急増している特殊詐欺から高齢者などを守ることを目的としています。なお、北海道内では9月末時点で特殊詐欺の被害額が約17億円、認知件数が317件となっており、すでに昨年1年間の数字を上回っています。

今金小学校でマラソン記録会



10月23日、今金小学校で恒例のマラソン記録会が行われました。当日は少し肌寒い中での開始となりましたが、次第に天気も回復し、秋晴れの下で子どもたちは元気いっぱい走り出しました。

コースは、校舎をスタートし、国道230号線を種川方向に向かって折り返し地点から学校へ戻る1km、1.5km、2kmの3コース。学年ごとに分かれて、日ごろの練習の成果を発揮しました。

沿道では地域の皆さんから「がんばって!」と温かい声援が送られ、子どもたちの力走を後押ししていました。

認知症への理解を深める講演会

9月25日、今金町民センターにて「今金町認知症講演会」が開催されました。

講師として、札幌市の中村記念病院脳神経外科副部長・石渡規生氏を迎え、「知っておきたい認知症」をテーマに、認知症や高齢者のうつ病について分かりやすく講演が行われました。

講演後の質疑応答では、「認知症で病院を受診すべき判断基準」や「認知症になりやすい職業はあるか」などの質問が寄せられ、参加者の関心の高さがうかがえました。



パラ金メダリスト池崎選手講演会

10月18日、今金小学校体育館にて車いすラグビー選手で2024年パリパラリンピック金メダリストの池崎大輔氏の講演会「夢を叶えた軌跡」(主催：今金町PTA連合会)が開催されました。

池崎さんは、困難に挑戦する意義や困難を楽しむことの大切さについて熱く語り、パラリンピックでの裏話も披露されました。さらに、次回大会でも金メダルを獲得し、今金町へ戻ってきたいとの想いも語られました。

講演後は池崎選手が参加者を見送りながら交流し、希望者には金メダルに触れる貴重な時間もありました。

